

美方高校新聞



発行所
福井県立美方高等学校
新 聞 部
責任者
新 編 集 部
編 集 部
新 聞 部

陸上部の熱き戦い 北信越に9名出場



男子1500m決勝ラストスパート

「北信越ではま

初日に行われた一五〇〇メートルの決勝は、炎天下のレースとなった。家光応輔と西野寛太郎は序盤からペースを作り力走。家光は三位、西野は五位に入賞し、北信越大会の出場権を獲得した。女子は名里奏夢が四位入賞を果たした。

五月二十七日〜二十九日、春季総体陸上競技が福井市の9・98スタジアムで行われた。今大会で上位六位に入賞した選手が北信越大会に出場することができる。美方高校からは長距離をはじめとする六種目九名が北信越大会への出場権を掴んだ。

二日目以降も美方勢の活躍は続いた。三〇〇〇メートル障害では宇野駿汰、大西克明、北村史陽が、五〇〇〇メートルでは上田凌久と大野蒼来が上位に入賞した。八〇〇メートルでは家光応輔が準決勝を一位で通過し決勝に臨んだ。序盤は周りについて行き、残り二五〇メートルでラストスパートをかけトップに出た。しかし、ゴールまであと三〇メートル付近で抜かれ、惜しくも二位でフィニッシュした。家光は「ラストに僅差で負けてしまい悔しい」とレースを振り返り、



競り合う女子一五〇〇m決勝

「北信越ではま

「自分から行動できる人」になつてほしい」と語った。短距離女子キャプテンの有田菜々花さんは新キャプテンに「一人ひとりが仲間のために行動できるチームを作ってほしい」と期待を込めた。大会前に短距離男子キャプテンの竹浦さんが「三年生と一緒に出られる最後の大会になるかもしれないから悔いの残らないようにしましょう」と話していたように、大会会場でもチーム一丸となり取り組んでいる雰囲気を感じられた。

長距離・短距離ともに今後の陸上部の活躍に期待だ。

【北信越出場者】

〈男子〉

- 一五〇〇m 三位 家光応輔 五位 西野寛太郎



手に汗握る3000m障害決勝



僅差の戦い男子一〇〇m

- 三〇〇〇m障害 三位 宇野駿汰 五位 大西克明 六位 北村史陽 八〇〇m 二位 家光応輔 五〇〇〇m 三位 上田凌久 六位 大野蒼来 一五〇〇m 〈女子〉 四位 名里奏夢 五位 名里奏夢 六位 濱野彩花